

第57回自治体 学校in金沢 7月25日～27日

7月26日(日)

金沢大学角間キャンパス
自治体学校の2日目は分
科会です。福祉、子育て、
エネルギー、水、労働、災
害、合併、憲法などの中か
ら、一つしか選べません。栗山香代子議
員は、都市経済常任委員会に所属してい
て「国土政策」の言葉に魅かれたのと、
厚木市でも公共施設再編計画が進められ
ているので、この分科会を選びました。

分科会

国土政策と公共施設再編の中の
自治体政策のあり方

森裕之(立命館大学)

少子高齢化が
進み、消滅自治
体なども話題に
なっている。国
は地方創生を謳っ
ているが、国の
財政を地方にど
う配分するかを
優先している。
コンパクトシ
ティ、まちなか居住な
どいろんな言い
方をしながら交
付金等で誘導策
をとっている。



しかし、実際にそこで生活している国
民のことは考えられていない。公共施設
だけでなく、国の誘導にのらず、住民の
自治によって地方自治を実現させてい
べき」との講義でした。

当日の流れは以下の通り。

1. 地方創生と自治体
2. 公共施設と地域再編
- (1) 立地適正化計画
- (2) 公共施設等総合管理計画

ナイター企画

「まち研」交流会で地域の今と将来
を語り合いませんか

平岡和久(立命館大学)

今年9月20日は厚木で「神奈川県自治
体問題研究所」の学習会があります。
その予習のためと思って、参加しまし
た。

講師は冒頭、「地方創生と言うが、
各地域は総合的な存在であり、個性が
ある。誰がまちづくりをするのか。住
民、首長、議員、自治体職員の四輪駆
動でまちづくりの計画をつくってい
こう」と話しました。

板橋の人は「今の管理職は夢が無い」
舞浜からは「福井の高浜原発から12
km。自衛隊関連で働く人が1割。地域

- (3) 自治体間連携・連携協約制度
- (4) 公共施設の財政問題
3. 公共施設の統廃合問題—先行事例を
通じて—
(1) 相模原市—「公共施設白書」に
よる全体像の把握
(2) 浜松市—先行する公共施設の廃
止
(3) 飯田市—下からの公共施設計画
4. 「上からのマネジメント計画」から
「住民の自治計画」

調査をし、地域の人の話を聞く会を行っ
ている」

箱根「財政分析もやってきた。勉強
内容を持ちかえり、生かしていこう。
市・県の職員、議員も講師になり、知
りたいことをテーマにやっている。難
しい問題を易しく」
栃木「合併の検証」
尼崎「学習・研究をして、年に2冊
の本を出している」

佐野「総合管理計画、総合戦略、定
住自立圏構想・・・、具体的にどんなプ
ランができていくか」
流山「市は「お金が無いからできな
い」と言うが、財政を知りたいと交流
し「財政分析」など、
多くの経験を出し合いながら交流し
ました。

7月27日(月)

石川県文教会館

全体会の特別講演

世界農業遺産

『能登の里山里海』と地域再生

自治体と大学の連携による

人材育成を通して

中村浩二(金沢大学特任教授)

里山里海プロジェクト代表

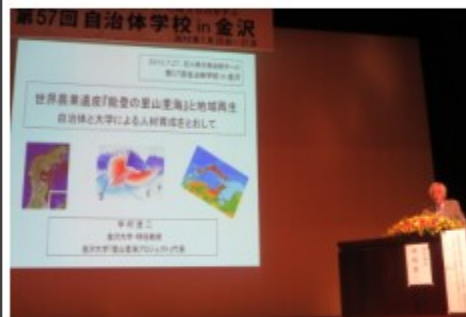
里山里海とは？

なぜ、重要か？

・ミレニアム生態系評価と「生
態系サービス」と生物多様性
現状の問題点

・能登半島は何故過疎、高齢化
したのか？

・2種類の里山問題



里山里海からSATOYAMA/MAS
TOMIへ(国際化)

・日本における里山里海評価
・SATOYAMA/MAIニシヤチブ国際
パートナーシップ

世界農業遺産(GIAHS)

↓「能登の里山里海」認定

金沢大学の里山里海活動

(教育・研究と人材育成、地域再生)
自治体と大学の連携活動

・能登キャンパス構
想
・推進協議会

まとめ

・大学の役割
(人材育成と地域・
国際交流学生)
・里山・里海は再活
性化するか

金沢大学教員も「戦争法案」に反対！



2日目の分科会会場は金沢大学。その廊下に「遂に10000人を
超える学者・研究者が「平和安全法制」=侵略戦争法案に反
対!」の大きな張り紙がありました。